

令和7年度学校評価報告書

令和8年(2026年)3月23日

北海道教育委員会教育長 様

北海道斜里高等学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1 主体的に学び、考え、課題解決に向け他者と協働しながら行動する力を身につけさせる
- 2 キャリア選択に必要な能力を身につけさせる
- 3 生命を尊重し、健やかな心身を育む力を身につけさせる

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
【学習指導】 主体的かつ協働的な学びの促進	来年度も定期考査を年2回で実施。観点別評価の効果的運用を図るとともに、生徒には普段の取組がいつそう重要になっていくことを伝え、モチベーション指導を重視していく。	・定期考査を2回にした成果・効果を知りたい。 ・学習成果発表会でも学習内容が深まっていると感じた。 ・地域の特性を生かした授業をこれからもお願いしたい。
改善方策	地域の特性を生かした授業の充実を図り、実社会と結びつく「深い学び」を通して生徒の自己表現力や課題解決能力の向上を推進する。その上で、評価方法の変更が生徒の学習意欲や基礎学力の定着、探究的な学びに与える効果を検証する。	
【生徒指導】 生命尊重と規範意識の育成	身だしなみ等に関する指導基準に対し、統一的な指導が可能となっていない。今後は全教職員で連携し継続的な指導にあたり、更なる改善に努める。	・少し乱れている印象を受けた。 ・しっかり挨拶をする生徒などはいるが、やんちゃが目立つ生徒への改善をしないと、地域からの評価は変わらないのではと感じた。 ・日頃の生徒指導での取り組み等を生連協で共有できればと感じた。
改善方策	生徒指導に関する指導基準について、共通理解に基づく統一的な指導が徹底されていない課題がある。今後は全教職員が連携し、継続的な指導を行うことで更なる改善に努める。	
【進路指導】 キャリア選択能力の育成	「産社」「総探」「知床学」での探究活動をより効率的・計画的に充実させていく。スタディサプリを基礎学力向上、進路学習対策ツールとして有効活用していく。	・進学へのフォローアップは学校の力だけでなく公設塾が必要であると考えている。 ・総合学科の特色を活かす学校の取り組みに熱意を感じた。今後更なる充実を期待している。 ・学習成果発表会での成果を見て、非常に興味深い内容で斜里高校が様々な方向で学びを進めていることがわかった。
改善方策	「産業社会と人間」および「総合的な探究の時間」、「知床学」における探究活動の充実を図る。同時に、スタディサプリを進学・検定対策のツールとして最大限に有効活用すべく、具体的な実践計画を立案する。	
公表方法	本校ホームページ上で公開するとともに、学校運営協議会の委員やPTA役員、斜里町教育委員会等に配付する。	

3 添付資料

- (1) 令和7年度学校関係者評価書
- (2) 令和7年度学校評価アンケート集計結果